

地域意見交換会における意見等の概要【地区別 学校順】

地区	ジャンル	概要
裾野	統廃合	・裾野小（統合校）の人数が将来的に減少したら、鬼沢（自得小）の子も入れるのだろうか。これ以上統合しないでほしい。
裾野	統廃合	・修斉小と草薙小が統合したら、教員の数はどうなるのか。
裾野	統廃合	・通学支援策を示してから統廃合を進めてほしい。
裾野	統廃合	・通学支援が充実すれば、安心して保護者が地域に定着し、児童生徒数が増えるはずだ。鯉ヶ沢町やつがる市は学校を統廃合で1つにまとめているが、スクールバスで通学だけでなく部活の帰りまでケアしており、保護者が地域に定着している。
裾野	学級	・中学校でも複式学級はあるか。
裾野	学級	・なぜ33人学級を推進しているのか。33人とした根拠は？
裾野	通学	・統合校（裾野小）のスクールバスは1台で十腰内（修斉小）→裾野小→大貝（草薙小）→裾野小と周るのではなく、2台で十腰内・大貝の2カ所から出発してほしい。
裾野	小中一貫	・裾野中学校も老朽化しているので、小中一貫校にしても良いのではないか。宮城県では小中一貫だけでなく、老朽化した保育所も一貫校の中に移転した学校がある。スクールバスの不足する部分は、みんな顔見知りなので互いに乗り合いするなどして補うことができる利点があった。
裾野	放課後対策 土曜授業	・現在の修斉と草薙の子ども会を、裾野小になったら一本化して隣接の交流センターに児童館を設置してほしい。サタディプランは中心部の施設ばかりで行われているので、統合校の児童館でも行ってほしい。
裾野	活性化 プロジェクト外	・弘前教育活性化プロジェクトはとても良い。外科手術体験など素晴らしいので、もっと踏み込んで、ものづくりや農業の分野にも広げて欲しい。子どもたちにいろんな職種を教えて、地元働き口があると気づいてもらえれば、地元離れも防げる。
裾野	児童生徒数	・特色のある学校づくりや魅力ある地域づくりをすれば、子どもが増えると思う。
裾野	教員人事	・生徒のやる気が出るかどうかは先生の影響が強いと思うので、優秀な先生を増やしてほしい。
裾野	英語教育	・ALTと英語活動支援員をもっと増やして、各校1名配置してほしい。特に小さい子には外国人との触れ合いがよい影響を与える。
計 13件		
新和	統廃合	・来年8月に新方針を策定すれば、いきなり統廃合の話が進むのか。方針が決まれば、三和地区を統廃合するのか。
新和	統廃合	・小学校は3校（小友・三和・新和）まとめて統合してほしい。中学校は河西地区全体で1校に統合してほしい。
新和	統廃合	・「子どものため」として統廃合する方法も理解できるが、学校は「地域にとって」大切なもの。6学年全てが複式学級ならばいいが、1つの複式学級があるだけで統廃合するという現行方針には疑問がある。それぞれの地域独自の良さに誇りを持っていることは、子どもたちの生きる活力となる。
新和	統廃合	・小規模校の保護者たちは、概ね現状に肯定的だが、幼稚園から中学3年まで同じ顔ぶれでずっと過ごすことについて、友達間のコミュニケーションについて、親も子も不安を感じているようだ。
新和	学級	・複式解消を考えるのではなく、複式学級のやり方を工夫できないか。
新和	学級	・子どもが上の学年の子に気をつかい発言が制限される複式の授業もあるようだ。複式学級がいいか悪いか分からない。
新和	学級	・複式にならないように教頭が授業するなど、人数が少ないなりの工夫をしている。
新和	学区	・新和地区から他市町村に転居し、区域外通学している児童がいる。新和中に進学したいのだが、他市町村の中学校に行かなければならないのか。他市町村の中学校に馴染めず不登校にならないように配慮してもらえないのか。
新和	学区	・区域外通学の児童については、本人たちも希望しているので、他市町村の大規模な中学校ではなく、人数の少ない新和中を選択できれば良いと思う。

地域意見交換会における意見等の概要【地区別 学校順】

地区	ジャンル	概要
新和	学区	・新和地区は板柳町と鶴田町が近い。今後統合したらバス通学しなければならない場所も、市外の学校を選択できれば自転車で通うことができる。
新和	通学	・小友小の学校から児童館までのルートが冬場は狭い。新しく出来た小規模農道を除雪して通らせたらいいと思うが、通学路に出来ないか。除雪については町会でやろうと話している。
新和	通学	・上青女子地区の子どもたちは路線バスで通学するとなれば、一旦板柳経由するルートになる。将来統合するならば、路線バスではなく、板柳を経由しないルートを走るスクールバスにしてほしい。
新和	基本方針	・意見交換会の名称が『「弘前市小・中学校の教育改革に関する基本方針」（＝新方針名）の策定に係る地域意見交換会』では内容が分かりにくく、チラシを受け取った保護者間で「（地域意見交換会）統廃合の話にならないなら行かない」という意見が多かった。「統廃合についての意見交換会」であればもっと人数が集まった。
新和	教員の負担	・少人数学校の先生への負担はどこも多いが、三和小と異なり、小友小には専任の教務がいないので大変である。加配の特例など先生への配慮してほしい。
新和	教員の負担	・校長・教頭が授業に入るなど負担が多いように感じるので、小規模校の先生へも配慮してほしい。
新和	教員の負担	・先日、理科の実験を支援する先生が学校に支援に来た。実験は大変なので教員の負担軽減になると思うし、子どもたちに大好評だった。A L Tの増員や学びの協力員など支援する市の施策が今後が続いていくことを期待します。
新和	教員人事	・卓球部に卓球経験のある先生が来てほしい。スポーツ少年団にすれば学校から離れた形態になるが、指導者を見つけるのが難しい。
新和	他校交流	・新和地区の小学校3校では、1～2年は生活科の交流授業、5年は自然教室、6年は修学旅行と合同で行っている。普段からの3校の連携が新和中で活きている。
計 18件		
北辰	統廃合	・少子化で今後統廃合も想定されるが、スクールバスは出すのか。
北辰	統廃合	・高杉小も自得小も小規模校である。教育委員会として、将来的な統合は考えているか。
北辰	統廃合	・統合は良い面もあるが、地域から学校がなくなるのは大変なことで、住民も大方はマイナスイメージでとらえていると思う。
北辰	学区	・例えば、二中学区でも北辰中の方が近い場所もある。学区の見直しはあり得るか。
北辰	放課後対策 土曜授業	・高校では土曜に授業をやっている場合もあるが、小・中学校ではやる予定はないのか。
北辰	活性化 プロジェクト	・弘前教育活性化プロジェクトの、親力・保護者力アップへの支援について具体的に教えてほしい。
北辰	市民条例	・子供の笑顔を広げる弘前市民条例の行動計画の中で、「いじめは犯罪と隣り合わせ」という記載があるが、私はいじめは犯罪だと思っている。そのように厳しい定義で啓発すべきではないか。
北辰	教員人事	・個人的な意見だが、男性教諭と比べて女性教諭の人数が多いと思う。運動会の際などは男手が必要で、大変かなと感じている。
北辰	特別支援教育	・特別支援学級に配置する教員や支援員の配置について聞きたい。
北辰	学校と保護者	・先生と親がしっかり連携して子どもを育てていく事が大事だと思う。
北辰	学校保健	・本県では子どもの肥満が多いと聞くと、食育として何か対策は行っているか。
北辰	その他	・子どもたちは携帯電話やスマートフォンを常に使用している。社会的にも大きな問題だと思うが、教育委員会としてどう考えているか。
計 12件		
船沢中	学級	・1学年1クラスだと競争心がなく、だらけるような感覚があるので、10人+10人で2クラスに分けることは出来ないか。
船沢中	学区	・船沢保育所と船沢小学校の連携が取れているため、船沢小学校への就学を希望している鼻和地区（岩木小学校区）の園児が船沢保育所にはたくさんいる。学区外で通う事は出来ないか。

地域意見交換会における意見等の概要【地区別 学校順】

地区	ジャンル	概要
船沢中	学区	・船沢小と船沢中の児童生徒数を増やすために、鼻和地区と新岡地区（津軽中学校区）を船沢中学校区に学区を見直しして欲しい。3年前の市政懇談会でも同様の意見を述べたが、見直しされている様子がない。
船沢中	通学	・船沢小学校への統合による弥生小の子どもたちの通学支援はどうするのか。
船沢中	通学	・豪雪で道幅が狭く危険な通学路がある。実際に現場を見て、ロードミラーも設置してほしい。
船沢中	通学	・弥生地区のスクールバスに、朝だけでも中学生を乗せてほしい。
船沢中	基本方針	・学校は地域のものであるので、地域のことも考えて小規模校の在り方を検討してほしい。
船沢中	基本方針	・幼稚園・保育所はほとんど私立で個性があり、統一されていない分、それが小1プロブレムに繋がっているのではないかと危惧している。基本方針を作るのであれば、幼保小連携も含めて検討してほしい。
船沢中	小中一貫	・小中一貫校は実施するのか。
船沢中	その他	・少子化なのに教育費予算の小学校費と社会教育費が前年度より急増しているのはなぜか。
計 10件		
東目屋	学級	・配付資料では、東目屋小学校で平成26～29年度に複式学級を一部編制する見込みとなっているが、単式学級で対応できないか。もしくは複式学級となる場合でも、サポートの教員を配置するとか、複式の経験がある教員を配置するとか、複式が理由で授業の進捗が遅れるなど子どもたちに悪影響とならないように、教育委員会としても何らかの対応を検討してほしい。
東目屋	小中一貫	・東目屋地区は、小中連携のモデル地区となっているが、他の地区にも参考となるような成果は出ているか。
東目屋	小中一貫	・小中連携のモデル地区としてこれからも頑張るために、ぜひ必要な予算配分をお願いしたい。
東目屋	活性化プロジェクト	・B i ・ B i っとスペースの市内5か所とはどこか。東目屋にも児童館があるが、今後開設場所を増やす予定はあるか。
東目屋	児童生徒数	・配付資料の東目屋中学校の生徒数推移は、西目屋村の中学校事務委託による、西目屋村の生徒受け入れを考慮したものか。
東目屋	学校施設	・平成27年度から西目屋村の中学生を受け入れるが、東目屋中学校3階の一部教室で雨漏りが発生している。なんとか予算を確保して、平成26年度中には修繕をお願いしたい。
東目屋	英語教育	・中学校の英語の授業に、ALTが来る回数を増やしてほしい。子どもの頃からネイティブな発音に接し学ぶことができるし、小学校にも時々来てくれているが児童もとても楽しみにしているようだ。
東目屋	特別支援教育	・特別支援学級が新設されるときには、特別支援教育の経験がある教員を配置してほしい。
計 8件		
一中	統廃合	・最低でも1学年に2クラスないと競争意識が育たず良くない。北小学校も将来1クラスになる見込みなので、交通の便を検討するなどして早めに統合を考えてほしい。
一中	統廃合	・徒歩通学が好ましいので、学校統合はしないでほしい。
一中	学級	・33人学級に拘らず、20人学級にすればクラス数も増えるし、若い先生を増やすことができ雇用対策にもなって良い。
一中	学級	・昔は学年1クラスだったので、1クラス50人という学級もあった。スペースの問題で教室が固定されるなど不自由な点もあったが、いろんな経験ができて良かったと思う。
一中	通学	・北小学区で街頭指導しているが、徒歩通学者は少なく、ほとんどが自家用車で送迎である。体力と行動力づくりになるので、送迎ではなく、自分の足で歩かせてほしい。
一中	通学	・車送迎ではなく徒歩通学の子どもが増えるように、先生方の工夫が必要だと思う。例えば、各自の通学ルートの地図を書かせて、いろんな不思議を発見させると、観察力のある子が育つ。

地域意見交換会における意見等の概要【地区別 学校順】

地区	ジャンル	概要
一中	基本方針	・地域意見交換会の対象者が「保護者の皆さま、地域の皆さま」という大ざっぱな呼びかけでは人数が集まらない。どうすれば集まるのか私も分からないが、もっと集客してほしい。
一中	活性化プロジェクト	・B i ・ B i っとスペースを学校内に作ってほしい。町会の会合を学校内で行うなどして、学校の垣根を低くしてほしい。
一中	学校と地域	・第一中は図書室を開放している。空き教室を交流室としてどんどん地域に開放してほしい。
一中	学校と地域	・第一中学校の河川敷清掃は15年続いており、100人くらい参加している。こういった面白い企画をしてほしい。
一中	学校と地域	・中学校区の小学校合同運動会があれば良い。一中学区の4つの小学校で一堂に会し、対抗心を持たせて、子どもたちの目がキラキラするようなことをさせたい。
一中	学校と地域	・地域に開放されている北小学校のクラブハウスは、入口が別にあり学校の敷居が低いため、利用率が高くとても良い。
一中	学校と地域	・子ども会や町会で事業をする際にもプロジェクターやブルーレイなどを学校から借用したいので、学校備品リストがあると良い。学校と地域で備品を貸し借りすることで双方の連携を深めることができる。
一中	社会教育	・今の子どもたちは与えられてばかりいて、自発的にいろんな体験ができず可哀相だ。地域から仕掛けて、子どもたちに体験の場所を与えてあげたい。
一中	授業	・子どもたちがなりたいと思うような大人、例えば齋藤春香さんや赤石光生さんのような人と触れ合う機会があると良い。
一中	学力	・学力向上についてはどのような対策をしているのか。第一中学校の学力はどの程度か。
一中	進路	・少子化の影響で、弘前大学が無くなるようなことがないように、地方都市に国立大学があるという奇跡を大事にしてほしい。
一中	進路	・高校生だけでなく、小中学生も弘前大学に連れて行き、学食や講義を体験させる機会を作り、弘前大学に入りたいという夢を持たせたい。
一中	学校保健	・弘前市の子どもたちの体格は全国的にみてどうか。
計 19件		
東中	学級	・複式学級では子どもがかわいそう。最低1学年1学級の環境で学ばせたい。
東中	学区	・同じ町会でも、東小と和徳小の学区に分かれている。学区と町会の線引きを合致させることはできないか。
東中	通学	・修斉小と草薙小の統合校は、両校の中間地点にできるのか。小学生だと通学距離があまり遠いと困ると思うが。
東中	小中一貫	・弘前では小中一貫校をつくる計画はあるか。
東中	放課後対策 土曜授業	・弘前の小中学校で土曜授業をやる予定はあるのか。
東中	放課後対策 土曜授業	・東部公民館の地域交流室は夜10時まで開放し、子どもたちの勉強場所として非常に多く利用されている。学校でも、土日に図書室を開放するなど考えてほしい。
東中	活性化プロジェクト	・デジタル教科書とはどういうものか。
東中	活性化プロジェクト	・「JAXAへ行こう」事業の応募者127名に対し参加者20名ということだが、夢がある事業だと思うので、少しでも多くの子どもが参加できるようにしてほしい。
東中	社会教育	・東部公民館で様々な事業や講座を実施しているが、予算が年々削られている。財政事情も理解できるが、事業等を充実するためにも是非予算配分をお願いしたい。
東中	スポーツ	・スポーツ少年団や部活動で、子どもは土日ほとんど家にいないため、青少年対象の地域行事等をやりたくても、子どもの予定が空かないのが実情である。部活動等は週1回は休むという取り決めが守られていないように思うが、市教委から指導はしているのか。
東中	教員人事	・英語の授業が小学3年生まで拡充されるが、英語教員の確保をどう考えているか。

地域意見交換会における意見等の概要【地区別 学校順】

地区	ジャンル	概要
東中	英語教育	・英語の授業が小学3年生まで拡充されるのはいつからか。
東中	防災関係	・東小学校は災害時の避難所に指定されているが、耐震化はなされたのか。また、避難時に使う暖房等はあるのか。
東中	その他	・市教委で多くの事業をやっているのが今日の資料で分かったが、地域住民はここまでわからないのが実情である。
計 14件		
二中	統廃合	・藤代地区では藤代中学校が第二中学校へ統合したときのしこりがまだ残っている。大まかな方針の策定についてではなく、学校の統廃合について具体的に進めるのであれば、地域との意見交換を十分に行ってほしい。
二中	統廃合	・1月24日付け東奥日報の社説を読んでほしい。「脱学校統合」という意見の一つとして受け取ってほしい。
二中	統廃合	・学力が下がらないのであれば、国の基準に従うことなく少人数でも学校を維持するべきだ。
二中	学級	・生徒数とクラス数の資料で、同じ人数なのに中学1年は5クラス、中学2年は4クラスと表記されているのはなぜか。
二中	学級	・複式学級になると学力は下がるのか。
二中	学級	・中学2～3学年についても33人学級の拡大を考えているか。
二中	通学	・通学路の除雪が悪く、歩道をふさいでいることがあるので、子どもたちの安全は確保してほしい。
二中	基本方針	・基本方針の見直しとあるが、教育委員会では素案を持っているのではないか。
二中	基本方針	・基本方針の見直しは定期的なものか。
二中	基本方針	・市のホームページに他地区の地域意見交換会の概要が載っていたが、もっと詳しく質疑応答を掲載した方がよい。
二中	小中一貫	・小中学校の統合（小中一貫校）は想定しているのか。東目屋や石川は一つにしてしまうつもりはないのか。
二中	放課後対策 土曜授業	・校外学習は学校でやるものであり、地域に任せるものではないと思うが、土曜日休業の方針を弘前市ではやめないのか。
二中	放課後対策 土曜授業	・週休二日制のため、土曜日は地域で子どもたちを受け入れるようになったが、子ども会行事の準備など地域の負担が大きい。
二中	児童生徒数	・少人数だからこそできる教育の取り組みはありますか。
二中	児童生徒数	・児童生徒数が減少した場合の教育的施策だけでなく、地域活性に取り組むなどして子どもが増える施策を考えてほしい。
二中	その他	・この地域意見交換会で教育施策についての説明を実際に聞いてみて、市教委の取り組みは素晴らしいと感じた。
二中	その他	・教育は地域の活性化につながるので、弘前市はもっと教育にお金をかけるべきだ。
計 17件		
三中	学級	・三中学区では、附属小、中学校に入る子どももいるため、結果学級数が減ることもあった。学級編成の際に、あと数名のところで学級数が減ることもあり得るが、その場合学級数を減らさないための緩和措置はないのか。
三中	学級	・先生方の負担軽減や子どもたちへのきめ細やかな指導のためにも、今後30人学級をぜひ導入し、また先生も1学級2名配置にするなど増員してほしい。
三中	学区	・安原に住んでおり、中学校進学時に三中と南中を選択できと思っていたが、実際は南中学区だった。距離や通学路の安全面を考え三中进行かせたいと思っていたので、学区の境界線付近に住む家庭は学校を選択できる等の弾力的な措置はできないか。
三中	学区	・小学校の保護者間では、中学校進学時に三中と南中を選べるという内容が口コミでかなり広がっており、自分自身も今日初めて違うと知った。教育委員会ホームページでも、学区は「住所〇〇の一部」など不明確な表示となっているので、きちんと番地まで掲載するなど、保護者への周知徹底をお願いしたい。
三中	小中一貫	・市として小中一貫校（教育）についてどう考えているか。

地域意見交換会における意見等の概要【地区別 学校順】

地区	ジャンル	概要
三中	放課後対策 土曜授業	・ 少子化は教育委員会だけで対応できる問題ではない。放課後の学童保育などを充実しなければ子どもは増えていかないと思うので、市の子育て支援課とも十分連携して取り組んでほしい。
三中	放課後対策 土曜授業	・ 大成小のなかよし会がヒロロに移転したが、子どもたちが店舗内を一人で歩く場合もあるので、不安である。
三中	活性化 プロジェクト外	市の取組としてB i ・ B i っとスペースや子ども議会など様々取り組んでいると聞いたので、財政事情もあると思うが、今後もぜひ継続してほしい。
三中	学校と地域	・ 三中学区では学校と地域の連携も充実しているが、もっと学区民同士で意見交換を深める機会が欲しいと感じているので、教育委員会が主体となり中学校区単位での意見交換の場を設けてもらえれば、とても良いものになると思っている。
三中	授業	・ 市として、2学期制と3学期制のどちらを目指すのか。また2学期制の検証などは行われているか。
三中	市民条例	・ 市で今年度から始めた一斉あいさつ運動は、非常に良いと思っている。子どもの見守り体制を強化するためにも、地域を十分巻き込んで、町会組織などへのしっかりとした情報提供のもと、ぜひ継続してほしい。
三中	市民条例	・ 「子どもの笑顔を広げる」という市民条例のキャッチフレーズは大賛成である。保護者、地域も含め頑張らなければならないと思っている。
三中	市民条例	・ あいさつはどの学校でも力を入れて、子どもたちも頑張っていると思う。市で始めたあいさつ運動には非常に賛成なので、大人たちも、子どもたちへの声がけを積極的にやるべきだと思う。
三中	学校と保護者	・ 三中学区PTA連絡協議会を活用し、学区内のPTA役員同士で意見交換を行っており、親同士他校の状況も含めよく分かっている。
三中	その他	・ PTAと教育委員会との連携はあると思うが、町会組織と教育委員会との連携をもっと深めてほしい。この地域意見交換会も非常に良い機会だと思うので、今後も年1回開催するなど検討してほしい。
三中	その他	・ この地域意見交換会をやって終わりではなく、今日来られなかったたくさんの方にも市で行う様々な取組を紹介しなければならないと思う。ホームページでも良いが見られない人もいると思うので、例えば広報ひろさきに年2回程度でも取組事業を大きく掲載して、市民に知ってもらう努力も必要だと思う。
三中	その他	・ 附属小、中学校も近いのでそちらに行きたい気持ちもわかるが、地元民としてはぜひ地元の小、中学校に入ってほしいと思っている。
計 17件		
南中	学区	・ 文京地区は、三大学区と千年学区と隣り合わせだが、学区や町会の線引き、体育協会や老人クラブなど各種団体の組織の区割りなどが皆別々で、非常に複雑である。学区を見直すのも必要だが、それだけでなく町会はじめその他団体の区割りも併せて見直すべきである。
南中	学区	・ 泉野地区は、距離的には千年小の方が近い。堀越小まで通うには踏切や国道など危険箇所を通らざるを得ない。学区の線引きの問題は昔からあり、例えば広野地区は以前、堀越学区から千年学区へ見直された記憶がある。通学距離や通学路の安全面なども含め、再度学区をきちんと見直すべきである。
南中	通学	・ 小栗山駅の踏切も、歩行者が通る部分には踏切がないため、危険である。小学校に入学したばかりの児童は特に不安なので、教員が通学路に立ち登校指導もしていると思うが、今後も更なる指導を徹底してほしい。
南中	通学	小栗山地区の通学路は、カーブが多く見通しが悪いところがある。雪が多い時期はバスのすれ違いも困難なほどで、子どもが歩くには非常に危険である。今年は小雪のため現時点では大丈夫だが、豪雪だった昨年は大変だった。
南中	基本方針	・ 16中学校区での地域意見交換会をまとめたものを、今後公開する予定はあるか。
南中	基本方針	・ 幼稚園や保育園の父兄に対し、今後意見を聴取する予定はあるか。
南中	社会教育	・ 公民館事業で学区まなびい講座を実施しているが、十分な予算がないため思うように活動できていないと聞く。市として、もっと取組の効果が上がるような予算配分を考えてほしい。

地域意見交換会における意見等の概要【地区別 学校順】

地区	ジャンル	概要
南中	社会教育	・昔ながらの伝統行事や宗教行事が、今ではあまり大事にされていないと感じる。どんどん簡素化され廃れると、地域の特性が失われ、地域への愛着心も薄れていくと思う。
南中	社会教育	・小さい学校には小さい学校の良さが、大きい学校には大きい学校の良さがある。
南中	授業	・学校評議員として、学校の道德の授業を見学した。子どもたちにお互い支え合う心がきちんと醸成されるために、道德の授業は非常に重要だと感じている。
南中	特別支援教育	・特別支援学級の子どもを対象とした総合福祉作品展を毎年行っているが、年々作品の展示数が減っている。学校からきちんと子どもたちに、作品をつくる機会を与えるようにしてほしい。
南中	その他	・社会福祉協議会として募金活動を長く行ってきたが、弘前市は県内40市町村で募金状況が最下位で、特に中心市街地がかなり低い。学校教育ばかりの問題ではないが、助け合う気持ちが希薄だと感じる。
南中	その他	・塾に行く子どもが昔と比べて多くなった。先生方の指導力低下や、親の子どもに対する期待など様々あると思うが、個人的には必ずしも良いこととは思わない。
計 13件		
四中	統廃合	・朝陽小と桔梗野小が統合すればいいと思う。
四中	学級	・少人数学級で先生が目が行き届くようにしてほしい。中学校でも少人数学級を拡充してほしい。
四中	学区	・旭ヶ丘は桔梗野小学校区だが、通学路に歩道がなく危険であり、安全な道を迂回して通わせている。文京小へのルートの方が安全で、距離的にも桔梗野小と差がないので、学区を選択制にしてほしい。
四中	活性化プロジェクト	・教育委員会が開催した保護者対象のオープンキャンパスに参加したかった。子どもを預かる場所があれば参加できたので、次回開催するのであれば検討してほしい。
四中	児童生徒数	・少人数の学校では競争が出来ず、学力に影響が出ると思う。人数が多い学校の方が、子どもたちが頑張れるのではないかな。
四中	学校と地域	・学校と地域がつながるための場として、空き教室を地域に開放してほしい。
四中	学校施設	・廃校の跡地利用の状況を教えてほしい。
四中	学校施設	・市の中心地で利便性が良いため、旧一大小を現職教員と退職教員の交流の場として活用してほしい。
四中	教員の負担	・現職教員が抱える多忙感を、経験者（退職教員）に話すことで解消してほしい。
四中	教員の負担	・教育委員会は学校に報告書を提出させるのではなく、直接学校に出向いて状況確認するようにして、先生が報告書作成のために費やす時間を減らし、子どもたちに接する時間を増やしてほしい。
四中	スポーツ	・スポーツ少年団は勝利至上主義で、十分な休息を与えない、準備運動しないなど、教育上良くない面が見られる。
四中	スポーツ	・スポーツ少年団の利用にあたっては、親がしっかり判断しなければならないが、親にその判断力が欠けていると思うので、学校は親に対して教育的な指導をすべきではないか。
四中	スポーツ	・スポーツ少年団は費用や送迎の負担が大きく、子どもがやりたいスポーツをやらせてあげられず悩んでいる親もいる。
四中	給食	・給食のパンに髪の毛が入っていたことがあった。PTAで東部給食センターを見学した際に、作業員からは死角だが見学スペースからは見える場所に綿ゴミがあった。給食センターの清掃はしっかり行ってほしい。
四中	学力	・弘前市の学力は県の平均程度のようなのだが、学都ひろさきという環境だからこそ、平均程度ではなくもっと学力を上げてほしい。
四中	学校と保護者	・親がしっかりしないと弘前市の教育は良くなならないので、親の意識を変える研修をしたら効果的だと思う。
四中	その他	・クラスに乱暴な児童が一人いるため、子どもが怖がって不登校になり、現在は学習センターに通っている。一人のいじめっ子のために、他の子どもたちが不登校や私立・国立へ転校することのないように対策を立ててほしい。

地域意見交換会における意見等の概要【地区別 学校順】

地区	ジャンル	概要
計 17件		
第五	学級	・少人数学級（33人学級）は、全小学校で実施されているのか。
第五	学級	・昔は1学級40～50人の時代もあった。県の指導等もあるのだろうが、1学級40人でも十分教育できると思う。
第五	通学	・小比内町会で通学路の声掛けを行っているが、冬になると交通量が多く危ない箇所がある（スーパー佐藤長付近）。スクールゾーンを設けるなどの対策はできないか。
第五	基本方針	・旧基本方針の、12学級なら小規模とか、複式学級とか、この定義を教えてほしい。
第五	放課後対策 土曜授業	・子ども会が弱体化する一方、豊田児童センター（特に一輪車クラブ）の活動は非常に活発である。
第五	児童生徒数	・堀越小の1年生児童数が、平成25年から28年で6名増の見込みとなっているが、泉野地区だけではもっと増えるはず。他の地区の児童が減っているためなのだろうか。
第五	学校施設	・堀越小の教室を増設すると聞いたが、その必要があるのか。
第五	学校施設	・五中学区で、今後教室を増やす等の学校増改築の予定はあるか。
第五	学校施設	・教室の広さは、33人学級の場合でも40人程度は収容可能か。
第五	文化財	・弘前城の石垣工事のため、天守閣を移動させるのか。
第五	その他	・ここまで細やかな教育施策を行っているとは知らずびっくりした。教育には「夢」が必要だ。落ち度がなければ良いという考えでなく、何かの取組を積み上げていくことが子どもたちには大事だと思う。
第五	その他	・今の教育は子どもの顔色を気にしすぎている。子どもは大人の後ろを歩くもの。教育は厳しい側面もあるものだ。
計 12件		
石川	学級	・石川地区はずっと1クラス。2クラスあって競争できる環境がよい。
石川	学区	・石川地区が第五中に行くのは大変だが、小栗山や松木平地区が石川中に来れば弘南鉄道の活性化にもなる。
石川	基本方針	・平成26年8月に策定される新方針は、現在作成している弘前市の総合計画との整合性があるのか。
石川	基本方針	・新方針とは、市長のアクションプランによる子育て支援とは別のものとして捉えてよいのか。
石川	小中一貫	・石川は小中が同じ場所にある。小中一貫のメリットはあるか。
石川	放課後対策 土曜授業	・共働き家庭の低学年の児童は学童や児童館を利用しているが、学校に18時まで居られるとか、移動しなくてもいいようにしてほしい。放課後対策に地域先生とか、空き教室を地域活動に活用してほしい。
石川	活性化 プロジェクト	・活性化プロジェクトは3年間とあるが、その後の企画はあるか。
石川	児童生徒数	・小学校の先生が忙しいので手が回らない。石川小はもう少し人数が増えたらクラス数が増え、先生も増えるのと思う。学力低下もその辺が影響しているかと思う。
石川	社会教育	・公民館活動も大事だと思う。何か支援は考えているか。
石川	スポーツ	・小さい学校は部活が限られて、やりたいスポーツが出来ない。スポーツ少年団や民間に頼るのではなく、子どもたちが気軽にスポーツができる環境づくりの手助けを教育委員会にしてほしい。
石川	学力	・学力向上について具体的にどのような取組をしているか。
石川	防災関係	・学校単位での避難場所は困難。遠いし、毛布や食料もない。
計 12件		
津軽中	統廃合	・百沢小学校は将来的に統合されるのか
津軽中	統廃合	・百沢地区の住民にとっては、複式学級だとしても、徒歩で通える距離に学校がある方が望ましいはずである。
津軽中	統廃合	・百沢小は岩木小まで遠いという意見もあるが、百沢に程近い地区からも岩木小へ通う子どもはたくさんいる。岩木小に統合すれば、学級数も増えるのではないか。

地域意見交換会における意見等の概要【地区別 学校順】

地区	ジャンル	概要
津軽中	統廃合	・弘前では小規模校が半分以上ということだが、市教委としては統合したいということか。一市民としては、市の財政面を考えれば統合した方が良いという気持ちもあるし、一方で地域の方も思いもあるので、難しい問題だと思うが。
津軽中	学級	・複式学級だと学力に影響はあるか。
津軽中	学区	・旧岩木町の駒越地区に住んでおり、岩木小学校区だが、西小や城西小の方が明らかに近い。来年子どもが小学校に入学するが、常に送迎できるわけではないので、どう通わせれば良いか悩んでいる。
津軽中	通学	・除雪に関して、校内は良いが校外の道路除雪をしっかりとってほしい。岩木地区は小中とも徒歩通学が多いので、特に留意してほしい。
津軽中	通学	・新法師地区から岩木小までバスで通っているが、新法師地区のバス停がきちんと除雪されておらず、子どもが車道を歩いたり雪やぶを歩いたりしているので危険である。
津軽中	通学	・弘前方面へ通勤する際、歩道があるのに車道の左側を歩く子どもを多く見かける。家庭での教育をきちんと行うことが必要である。
津軽中	基本方針	・現行の基本方針では、何をもって規模が適正だとみなすのか。
津軽中	児童生徒数	・百沢小の児童が、大人数の津軽中に進学した際の様子はどうか。
津軽中	市民条例	・市教委でたくさんの取組を行っているので、ぜひ頑張ってもらいたいと思うが、特にあいさつが大事だと思う。地域で子どもへの声がけも行っているが、あいさつを返さない子もいる。きちんとあいさつができる人になってほしいと思っている。
津軽中	給食	・現在は岩木小、津軽中でも給食センターの給食を食べているが、給食センターでノロウイルス等が発生した場合は市内の学校へ一気に拡散してしまう危険性があるので、十分注意してもらいたい。
津軽中	その他	・除雪は旧岩木町時代に比べ悪くなったのでしっかりとってほしい。
計 14件		
常盤野	統廃合	・現行方針では「複式解消」とあるが、常盤野小中を統合する予定はあるのか。
常盤野	統廃合	・今年、子どもが生まれた。児童生徒数が少なくても、常盤野に学校を残してほしい。地域の人々はいずれ学校が無くなると思っている。
常盤野	学区	・地域ではこれまでも里山学校や海外からの留学生をインターネットで募集するなどして取り込めないと相談していた。不登校対策として市教委が常盤野へ子どもたちを取り込めないか。
常盤野	学区	・常盤野はいい環境なので（学区外の）子どもたちを引き受けたい。
常盤野	学区	・常盤野地区は道路環境も整い、市街地から車で20分で通えることを知ってほしい。定期代が年間20～30万円かかるというデメリットを除けば、常盤野は素敵な場所だ。
常盤野	学区	・常盤野では10年ほど前に障がい児を（学区外から）受け入れた実績がある。
常盤野	小中一貫	・小中一貫は良い。大きい子と小さい子との関係性があることが教育的に良い。
常盤野	児童生徒数	・地域の人達は児童生徒数の減少から、常盤野地区をどうにかしなければいけないという意識を持っており、山村留学などを考えている。
常盤野	授業	・食育はやっているのか。東目屋地区のりんご学習のように年間を通じて最初から最後まで体験させる食育をやってほしい。
常盤野	授業	・常盤野地区は他の学校では体験できないスキー学習や岩木登山があり恵まれている。
常盤野	給食	・給食は地元の食材を使用しているか。無農薬の食材は使わないのか。
常盤野	給食	・嶽きみコロッケは常盤野以外の学校でも給食で食べているのか。
常盤野	他校交流	・他校との交流の機会が少ないので増やしてほしい。
常盤野	他校交流	・来年は百沢小と合同修学旅行の計画があるのだが、百沢小や岩木小ともっと交流したい。岩木総合公園での運動などを合同授業に取りこんでほしい。
常盤野	その他	・常盤野の子どもたちはいい子ばかり。ぜひ見に来てほしい。
計 15件		

地域意見交換会における意見等の概要【地区別 学校順】

地区	ジャンル	概要
相馬	統廃合	・国の学校配置の目安として、通学距離が小学校は4キロ以内、中学校は6キロ以内と資料にあるが、学校統合があった場合この基準はどうなるのか。
相馬	統廃合	・青柳小は四中学区であるが、日常生活においては相馬地区と密接に関わっている。例えば、相馬と青柳の中間に統合校の小学校を新設するか、既存の中学校区を見直すことも視野に入れながら考える必要があると思う。
相馬	統廃合	・学校の統合にあたり、地域の中の学校の存在意義を考えるのであれば、分校の〇〇校舎という名目で学校を残すという方法もあると思う。
相馬	基本方針	・市として、教育に関して何が一番心配か。学校の数が多すぎることや、子どもの数が少ないことなど様々あるが、どこに力を入れたいと考えているか。
相馬	基本方針	・市長は、「子育てするなら弘前で」と、子どもを増やすための施策を進めているはずである。教育委員会としても、所管の子育て支援課としっかり連携して、今後の施策を進めてほしい。
相馬	基本方針	・県立高等学校の再編の関係で、弘前市内に普通の成績で入学できる普通科の県立高校の定数が少なくなり、私立高校に通わざるを得ないという例もあると聞いている。県立三本木高等学校・附属中学校のように、弘前市立の中高一貫校の新設も、新たな方針の構想に入れるべきではないか。
相馬	小中一貫	・相馬小学校と中学校で、ぜひ小中一貫教育を実施してほしい。
相馬	活性化プロジェクト	・資料にあるB i ・ B i っとスペース、デジタル教科書とはそれぞれどのようなものか。
相馬	学校と地域	・地域と学校の連携で言えば、コミュニティ・スクールをぜひやってほしい。一村一校でやってきたこの相馬地区では、モデル地区としてもやりやすいと思う。学校評議員制度だけでは足りない。
相馬	学校施設	・相馬小学校では、合併後プールが壊れて以来、学校プールは使われていない。また相馬小はグラウンドも改修が必要な状態であり、市内全域でみても、体育面で非常に恵まれていない学校となっている。裾野小学校に新しいプールができるのであれば、相馬にもプールが欲しい。
計 10件		
合計 221件		